

## 研究・調査報告書

| 報告書番号   | 担当                |
|---|-------------------|
| 439   | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学 |
| <b>題名 (原題/訳)</b>  |                   |
| Elevated serum uric acid predicts chronic kidney disease.<br>血清尿酸値上昇は慢性腎臓病を予測する   |                   |
| <b>執筆者</b>  |                   |
| Yamada T, Fukatsu M, Suzuki S, Wada T, Joh T.   |                   |
| <b>掲載誌 (番号又は発行年月日)</b>  |                   |
| Am J Med Sci. 2011;342:461-6  |                   |
| <b>キーワード</b>  |                   |
| 縦断研究、多重ロジスティック回帰、推定糸球体ろ過率   |                   |
| <b>要 旨</b>  |                   |
| <b>序論：</b><br>血清尿酸値が慢性腎臓病の独立した危険因子であるかについて、健康診断を受診する日本人を対象に経時的に評価した。  |                   |
| <b>方法：</b><br>2000年と2005年の両方において、hyperuremiaの薬剤服用のない14,399人（男性：8161人、女性：6238人）を対象とした。血清尿酸値に影響する治療を受けている対象者および慢性腎臓病の対象者(2000年の推定糸球体濾過率<60 mL/min/1.73m <sup>2</sup> )を除外後、多重ロジスティック回帰分析によって男性6887人（48.4±9.9歳）、女性5340人（49.9±9.0歳）が解析され、2005年に新たに診断された慢性腎臓病の独立した危険因子を同定した。調整項目は年齢、BMI、血圧や高血圧、高トリグリセリド血症、空腹時血糖、尿蛋白または潜血、飲酒、喫煙である。 |                   |
| <b>結果：</b><br>慢性腎臓病の有病率、BMI、収縮期および拡張期血圧、トリグリセリドは、血清尿酸値四分位が上昇した対象者において有意に高かった。この5年の間に慢性腎臓病は男性の4.1%、女性3.7%で新たに診断された。多変量モデルにおいて、血清尿酸値の第一四分位群では、男女ともに慢性腎臓病のリスク増加と関連していた。オッズ比および95%信頼区間は、血清尿酸値1単位増加あたり男性では1.42(1.28-1.58)、女性では1.32(1.12-1.56)であった。   |                   |
| <b>結論：</b><br>血清尿酸は健康診断を受診した対象者において、慢性腎臓病を予測する。   |                   |